



絵：桝辺正善（美術）

# かじき木だより

## 「遠くを見る」と云ふこと

校長 黒木 浩二



なんともやりきれない一物、も  
ちろん下敷きになつてゐるのは山

上優良の名歌です。

優良は今は娘らむ子泣くらむを負ふ母も昔を

待つむわ

窓席を中座する際の一音と言われています。「優良はもうおひと生しましょう、家では子供が泣いておりましゅう」。その子の母も歌を待つて「うんじょうからほどの意」。最後のうなづけで一曲の笑いを説く。懐々と引き上げてゆく優良の姿が誰かんとぞ思はず。

この歌の一茶の句では「優良」が「一茶」となつてい

ます。「優」はヒガエル。ヌメヌメとしてあそそぎるに堪える形容ではありません。のそのそと歩く姿も優良の余裕とはほど遠いものです。すると窓で待つ妻子のイメージも随分変わってしまいます。頭を空にして歌を歌えていません。何がきりかけたかも不明です。

具体的に「遠くを見る」とは、文字通り遠くの山や夕暮れ、足取り重く家路につく中年男性の姿が思い浮かびます。

別に「優良」に自分を重ねて優良を描くつもりはありません。私にも優良のように心に余裕がありて気の利いたユーモアのひとつが口について出ることから、私はかなり思ひつかうのです。特に疲れています。しかし逆に閑居感のなかで心が固まらず、むづづける「優良」に変身することがあるのも事実です。いつも優良のようでありたいと思いますが、人生はなかなか思うどおりになるものではありません。特に疲れがたまつたり、事がうまくいかなかつたり、思ひ出しがかさんだりしたとき、自分の言動がとげを含んでくるのを自覚します。

「有明」を利用していました。博多駅から西駅まで4時間30分ほど、薄暗く寂しがた博多駅で土産の辛子明太子を買ひ、ピールを買ひ、弁当を買ひ、準備を整え乗り込んだものです。ひまつなしの文庫本もわざわざ持参です。ナウい学生は「二のウォーカー」（1979年発売）を持っていたかもしれません。ケータイやボーダーブルグーム機といった無縫なものはないこの世にあります。

車内でコーヒー一杯注文して雑誌などに目を通せばもう

「鳥居」あたりです。車窓の前に不気味なほど静かで振動もなく、まさに驚異的な乗り物というのはすべりながら思いました。初めて乗った頃は夜7時に中央駅を出発して8時30分過ぎに鹿児島駅で降車する事実に非現実感を味わつたものです。

新幹線は「科学技術の神、また、近代日本文化の象徴」と思いますが、忙しい大人には多少歓迎されているのでしょうか。でも、全国民がそこまで急ぐ必要があるのか、という疑問は拭えません。学生には窓外を眺めて思ふにふりながら帰省できる環境の方が良かるう、と思ふのです。30年前の学生生活は時間の流れが「有明」的適度にゆったりしていました。今日では、本校生徒も卒業後は就職環境等の悪化で「新幹線」的な生活を余儀なくされるのがもしまれませんが、本当に、学生時代はいついうのんびりした時間の中で物事を考え、悩み、また楽しんでいたいものとつく思います。楽屋満喫の高校生活、身を削った勉強熱誠の後ですかね。

## 第28号 2012.7.20 加治木高等学校 PTA発行

〒899-5214  
鹿児島県姶良市加治木町  
仮屋町211番地

- |              |      |          |
|--------------|------|----------|
| 校長・PTA会長あいさつ | 職員紹介 | P. 1     |
| 各部及び生徒会より    |      | P. 2 ~ 5 |
| 部活動大会入賞記録    |      | P. 6 ~ 7 |
|              |      | P. 8     |

## 不登校問題への取り組みについて

生徒指導部児玉活也

全国的に高校進学率が98%を超える現状をふまえ、高校でも平成17年度以降に不登校生についての調査が始まり、不登校に対する取り組みが注目されるようになってきています。高校の不登校は最近まで「中途退学」の陰に隠れていますが、不登校の不登校の調査結果からわかつたことは、在籍数の約15%の生徒が不登校であること、中学校の不登校は学年が上がるほど増加するのに対し、高校の場合、低学年ほど不登校の占める割合の高いことがわかりました。これは、中学生は義務教育のため退学にはなりませんが、高校は義務教育ではないため、不登校＝高校中退や留年を迫られるからだと考えられます。

最近は不登校生の全体の在籍数に占める比率は増加の傾向が見られます。この背景には、近年の子どもたちが自尊感情に乏しく、人生目標や将来に対する夢や希望を持たず無気力な者が増えている、学習意欲が低下している、耐性がなく未成熟であるといった傾向や、学校に行かなければならぬといった義務感や学校へ行かないことに対する心理的負担感が薄れてきている傾向が指摘されています。

その他にも発達障害による不適応、病気等を要因としたものなどもあり、不登校生の増加には多岐にわたる背景が考えられます。

高校生の年代は、「社会化」といって自己同一性の確立を目指して試行錯誤しながら、やがて自分の生き方、価値観、人生観、職業を決定し、自分自身を社会の中に位置づけていく時期なのです。体

が大きくなっているので我々大人もつい

「これくらいわかっているだろう。知つていて当たり前」と思いがちなのですが、まだ知らないことが多いのです。だから、教えていくことが大切になります。最近は、携帯電話の普及等で子ども達同士やインターネットでの情報交換が盛んです。しかし、間違った情報も多く含まれています。だから、近くの人が正しい情報を教えていくことが必要となるのです。教えるためには、それなりに時間が必要になります。不登校であつた時間が長くなるとみんなが学校で一緒に学んでいることを学べない。同年代のたわいもない会話の中で得られる情報もない。知らない間に進路希望を持つていて。

そもそも、進路を決めるときのきっかけというのはこういう場合が多く、悪くはない。華々しく、格好良い姿の裏には想像を絶する努力と、精神的・肉体的にも力を尽くした過程で生まれる苦しみがある。また、仮に望む職業に就けたとしてもやりたくないこともあるのは当然である。そんな中でも、前向きに、今やるべき事に自分のベストを尽くすのが「働く」「勉強する」ということだ。さて、雄々しい仮面ライダーになるには、

### 一 思いを定め、覚悟を決める

何と言つてもまずは、高い目標を掲げ、困難は予想されるが、それを受け止め、「やりきる覚悟」を決める」とだ。

人生に「たら」「れば」はない。楽な道を選ぶのは簡単である。しかし、長い目で見たとき、それでいいのか?私も「迷つたら鍛えられる方を選ぶ」という「覚悟」はしているのだが、失敗したらどう恐怖心がつきまとう。ただ、一度きりの人生で、挑戦する気持ちを持ち続けたい。要是不安に負けない「強い覚悟」を決める事ができるかどうかである。

### 二 行動に移す

思い定め、覚悟しただけでは目的は達成できない。行動し、それを継続させることが必要だ。それが「努力している」

## 仮面ライダーになるには

進路指導部川崎辰也

ではなく、「当たり前」つまり「習慣」になるためには、自分を変えなければならない。自分を変えることは勇気がいることだ。朝十分早く起きる。机の前に座る時間を三十分早める。小さな勇気を積み重ね、自分を、そして未来を大きく変えてほしい。

### 三 我慢力

変わるために、犠牲や、我慢する力が必要である。「国家の品格」を著したことでも有名な数学者、藤原正彦先生は最近叫ばれている学力低下の原因を「我慢力の低下」と述べている。自分を変えるために我慢しなければならない事は何だろうか。携帯電話や、テレビ等いろいろあるが、今までの受験指導を通して最も我慢して欲しいと思う事は「結果が出ない」「成績が上がらない」という閉塞感や絶望感だ。今の努力が結果として出てくるまで三ヶ月かかると言われる。努力は必ず報われる信じ、我慢し、やりきる事だ。

受験を通して得るのは多い。人間的にも大きく成長させてくれる。自己実現のために「やりきる」という経験は無形の力となるはずだ。将来、どんな壁や苦難に出会つても、折れない心となつて自分の背中を押してくれるだろう。



「へーん  
しん! 仮面  
ライダー参  
上!」

## 山岳部復活に寄せて

一学年主任 山岳部顧問 福元裕樹

困った。メタボである。そんな身で山岳部の顧問をしている。部員の登山のスピードについていけない。加齢は惜しみなく体力も奪う。大学時代に少しだけ登山の経験はあつたものの、若いという理由だけで初任校のワンゲル部の顧問を任せられた。合宿や大会で何回も霧島や屋久島を縦走し、さらに文部省（当時）の登山指導者研修で北アルプス剣岳の岩登りをさせられ、高さの恐怖とバテる体験をした。もう登山は満腹状態だった。

転勤とともに、登山をしなくなつて20年以上もたつと、すべての思い出が美化されてしまうらしい。ここしばらく山を眺め登つてみたい思いにからながら、無理っぽいとため息をついていた。加治木高校へ赴任することになつたとき、おまかわらず。

部に昇格したものの、装備の不足に悩まされている。山岳部への装備の寄付を心待ちしている。さらに部員も大募集中である。興味を持つた生徒よ、一緒に山に登つてみないか。楽しいぞ！

そして、何より私のメタボが解消できるかもとちょびり期待している。



## 「お、『元』会長だ。」

前生徒会長 森下弘陽



## 生徒会長になつて

生徒会長 細山田捺見

最近こう言わることがある。僕はその度に、「そうだ。もう会長じゃないんだな」と感じる。先日の新生徒会役員任命式では、「一年前は、あそこに立つたとえ地の果てまでも行けそうな気がするほど、山岳部員は頼もしい存在である。今年も夏合宿は屋久島縦走である。昨年は、大荒れの天候だったのに、今年こそは好天を信じている。屋久島で天候に恵まれるのは10回に1回といわれているに

この一年間、生徒会長を務めて貴重な体験を数多くしてきた。学校行事の挨拶や街頭募金活動、他校や外国人との交流などの仕事をする中で、様々なことを経験した。時には厳しく指導されたり、失敗したり、悩んだりと苦しい時もあつた。でも、僕が一年間無事に生徒会長をやり遂げることができたのは、周りの人の支えがあったからだ。忙しい時は助け合い、無事に仕事を終えると共に喜びを分かち合つた生徒会本部役員、行事があるたびに「頑張れよ！」（お疲れ様）と声をかけてくださつたり、原稿の添削をしていただいたら、お世話になつた先生方、とにかく見守り、支えてくださつたおかげで、僕は生徒会長を務めることができたのだ。また、加治木高校生全員が、こんな頼りない生徒会長について来てくれたから、僕は無事に生徒会長としての仕事をやり遂げることができたのだと思う。この一年間で経験し、学んだことは、いつか自分を大きく成長させてくれるだろう。その思いを胸に、また新たに始まる日々を、一年間僕を支えてくださつた皆さん、本当にありがとうございました。そして、これからもよろしくお願ひします。

話が持ち上がり、顧問を引き受けた。生徒が集まつて月に一回のペースで登山を始めた。夏合宿では、二度と行くことはないと思っていた屋久島の宮之浦岳に登り、かつて大雪でルートを見失いビバーグ（野宿）した覚えの場所を通り過ぎ、縄文杉にも再会をした。涙が出るほど懐かしく、昔へタイムスリップしたようを感じた。登山競技では新人戦・県大会に出席し、「名門加治木の復活」と歓迎さ

この度、平成二十四年度生徒会長に就任いたしました。細山田捺見です。加治木高校に入學して一年、一緒に切磋琢磨できる友達ができ、先生方は熱心に指導してくださいました。学校行事では、今まで感じた以上の団結することの素晴らしさや達成感、感動を得ることができます。憧れだった加治木高校を加高中生として指導してもらいました。そこで、楽しく充実した学校生活を送れて、さらに大好きになりました。

生徒会選舉に立候補しました。

そして、生徒会選舉に立候補しました。

この加治木高校を先頭に立つて、引っ張つ

ていく役目を担つたと思うと、期待とやる

気でいっぱいです。私の役割は、私が今感

じている加高の魅力をさらに多くの生徒に

感じてもらうことだと考えています。です

が、私一人の力だけではもちろん、生徒会

執行部だけが行動しても学校を動かすこと

はとても難しいです。ですから、生徒の皆

さんや先生方、時にはPTAの方々にもご

協力を頼むなければなりません。執行部も

一生懸命頑張りますので、ご協力よろしく

お願いします。

私は今まで「元氣」と「笑顔」をいつも

大切に過ごしてきました。元氣がなければ、

何をやるにしてもやる気が起こりません。

笑顔であれば、自然と楽しくなるのです。

また、この二つは自分だけでなく、周りの

人を幸せにする不思議な力を持っています。

だから私は、これからも元氣と笑顔を大切

にし、加高生の元氣と笑顔をさらに増やせ

るよう頑張ります。拙い部分もあると思

いますが、よろしくお願ひします。

より明るい加高を作つていきましょう。

**部活動大会参加  
及び入賞記録**  
(12.7.現在)

**体育部門**

**始良・伊佐地区春季大会**

△ダンス	最優秀賞	
△サッカー	優勝	
△ハンドボール		
男子2位	女子5位	
△野球		
△バレー		
男子S	A 3位	
男子D	B 3位	
女子D	A 2位	
男子S	増満 3位	
女子D	相星・榎本 1位	
男子S	丸堀 1位	
男子D	宮内 3位	
女子D	宮内 3位	
△陸上		
男子総合	2位	
走幅跳	500m 1500m 800m 400m 100m	
中村	2位	
200m R	ヤリ投	
中村	2位	
200m R	木場・中崎・日高・宮内	
中村	3位	
200m R	羽島	
中村	3位	
△卓球		
男子S	増満 3位	
女子D	千歳・増満 3位	
男子D	福元・山崎 2位	
女子D	相星・榎本 1位	
男子S	高山・田中 3位	
男子D	日高 1位	
女子D	日高 3位	
△バドミントン		
男子D	繁山・湯之原 2位	
女子D	上原 3位	
△弓道		
男子D	5位	
女子D	3位	
△バスケットボール		
男子D	3位	
女子D	上原 3位	
△剣道		
男子D	3位	
女子D	3位	
△柔道		
100kg	66kg	60kg
200kg	100kg	50kg
300kg	100kg	50kg
400kg	100kg	50kg
500kg	100kg	50kg
600kg	100kg	50kg
700kg	100kg	50kg
800kg	100kg	50kg
900kg	100kg	50kg
1000kg	100kg	50kg
1100kg	100kg	50kg
1200kg	100kg	50kg
1300kg	100kg	50kg
1400kg	100kg	50kg
1500kg	100kg	50kg
1600kg	100kg	50kg
1700kg	100kg	50kg
1800kg	100kg	50kg
1900kg	100kg	50kg
2000kg	100kg	50kg
△水泳		
男子S	繁山 2位	
女子D	井尻・有馬 3位	
△テニス		
男子D	準優勝	
女子D	大迫・有田 3位	
△バドミントン		
男子D	西山 2位	
女子D	上村・米丸 2位	
△ラグビー	第3位	
男子D	西山 2位	
女子D	大迫・隈本 3位	
△山岳		
個人	南郷 1位	
橋口	肥後 2位	
△ダブルス		
高校総体	審査員特別賞 4位	
△サッカー	高校総体 2回戦	
△ハンドボール	高校総体	
男子ベスト4	女子ベスト8	
△卓球		
男子S	九州地区高校野球大会 2回戦	
女子S	九州地区高校野球大会 1回戦	
△バレー		
男子S	高校総体 3回戦	
女子S	高校総体 3回戦	
△水泳		
男子S	宮内 8位	
女子S	森 8位	
△陸上		
男子S	高校総体 16位	
女子S	女子団体 1回戦	
△バドミントン		
男子S	400m 200m 50m	
女子S	400m 200m 50m	
△弓道		
男子S	個人 5位	
女子S	個人 3位	
△柔道		
高校総体	森・米山 堀之内 6位	
個人戦	1回戦 八ヶ代 竹下	
△書道		
成田山全国競書大会	第59回NHK杯放送コンテスト 呉予選	
成田山賞	アナウンス部門 奨励賞 岩元勇樹	
浜田莉沙	高校生国際美術展 奨励賞 新名千夏	
吉井淳二記念洋画展	秀作賞 南園亜美・別當晶乃	
賞候補2名		

**文化部門**

△放送	第59回NHK杯放送コンテスト 呉予選
△書道	アナウンス部門 奨励賞 岩元勇樹
成田山全国競書大会	高校生国際美術展 奨励賞 新名千夏
成田山賞	吉井淳二記念洋画展
浜田莉沙	秀作賞 南園亜美・別當晶乃
△美術	
賞候補2名	